

目次



はじめに	4
図の描きかた	5
1 投影法	5
2 投影図	6
3 線の種類と用法	7
3.1 線の太さ	8
3.2 線の種類と用法	8
3.3 線種の優先順位	8
4 等角図	10
5 CADシステム	11
Q&A	13
Q1～Q50	15～114
おわりに	116

図の描きかた

ここでは、投影図と等角図の描きかた、図形の表示方法や線の種類、用途について説明します。

1 投影法

投影法には、**第一角法**と**第三角法**という2種類の図法があります。

第一角法は、**図1.1**のように投影するものの後方に投影面を置きます。図形を正面、上、右から見た形を、投影面に平行に投影（**平行投影**）するように描く方法です。あまり良い表現ではありませんが、

正面から見たものを背面に描く：**正面図**

上から見たものを下に描く：**平面図**

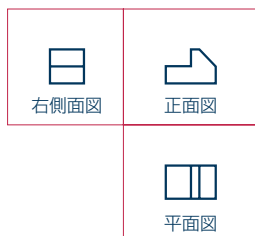
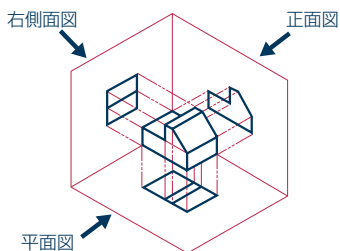
右から見たものを左に描く：**右側面図**

に描きます。この他に、

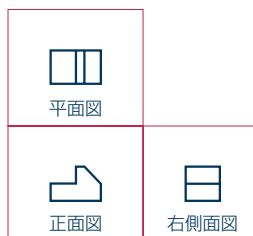
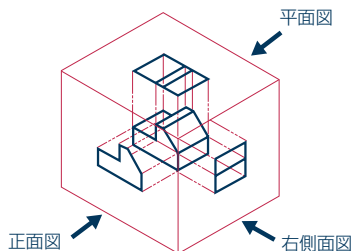
下から見たものを上に描く：**下面図**

左から見たものを右に描く：**左側面図**

後ろから見たものを正面に描く：**背面図**

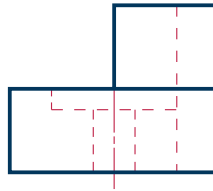
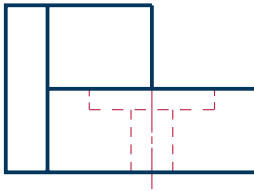
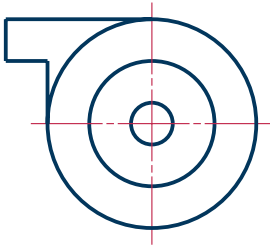


【図1.1】

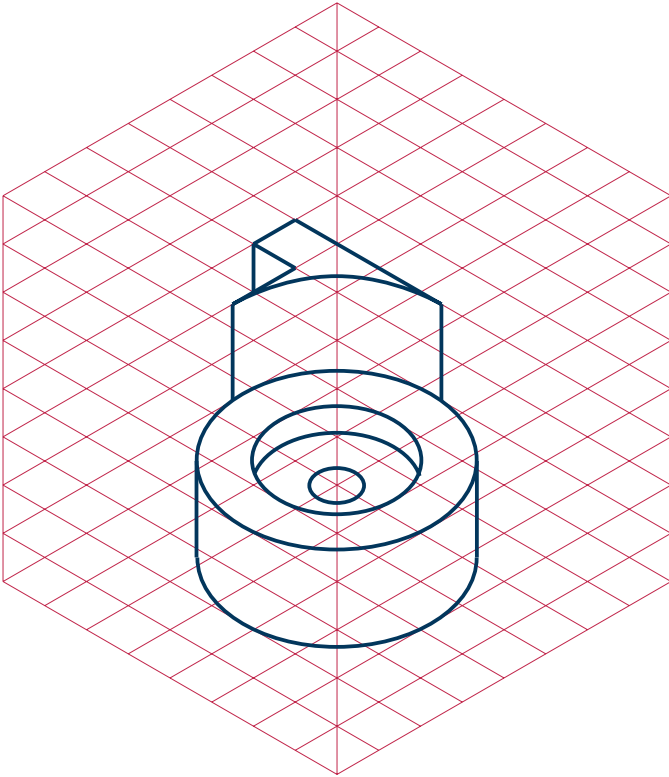


【図1.2】

Q:49



A:49



破線が示す形状を理解して、立体形状をイメージしてください。